

平成 30 年 3 月期 中間決算報告について

株式会社ソラシドエア(本社:宮崎県宮崎市、代表取締役社長:高橋 宏輔)は、本日 11 月 21 日(火)、平成 30 年 3 月期中間決算を取りまとめました。詳細につきましては別紙「平成 30 年 3 月期 中間決算短信」をご参照ください。

1. 平成 29 年 9 月中間期(平成 29 年 4 月 1 日～9 月 30 日)の業績

(1) 概況

当中間会計期間(平成 29 年 4 月 1 日～9 月 30 日)における我が国経済は、雇用・所得環境が改善し、景気は着実な回復基調が続いており、個人消費や設備投資は引き続き持ち直しの動きとなりました。今後も緩やかに回復することが期待されますが、海外経済の先行きや政策の不確実性、金融資本市場の変動の影響等により、我が国の景気が下押しされるリスクについて留意する必要があります。

このような環境において当社は、「2017～2020 年度 中期経営戦略」で掲げた目標を達成するため、安全運航を堅持しつつ、持続的な収益力の確保と更なる成長に繋がる努力を続けています。

営業面においては、レベニューマネジメントシステム「ROSA」の本格稼働や販売期間限定・WEB 専用のお得な「ソラシドスペシャル」等、運賃ラインナップを充実させました。

また、昨年の熊本地震の際に全国からご支援いただいた皆様に感謝の気持ちを表した九州観光推進機構の「九州からありがとうキャンペーン」に参画し、プレゼント企画やクーポン配布等、お得なキャンペーンを展開しました。

サービス面においては、8 月 1 日に就航 15 周年の節目を迎えたことを契機に「つぎの、ソラへ。」をキャッチコピーとし、機内ボーディングミュージックや機内誌ソラタネの刷新、就航地名産ビールの販売、地域振興・機体活用プロジェクト“空恋”パートナー自治体と共同でのソラシドマルシェの開催等、より「九州・沖縄」らしさにこだわったソラシドエアだからこそできるサービスの向上に取り組みました。

これらの結果、全路線の提供座席数 1,374,532 席(前年同期比 4.6%増)、有償旅客数 931,811 人(同 10.4%増)、有償座席利用率 67.8%(前年同期 64.0%)となりました。

(2) 業績状況

業績については、営業収入が 19,600 百万円(前年同期比 3.8%増)となりました。事業費は、15,365 百万円(同 4.3%増)、販売費及び一般管理費は 1,951 百万円(同 1.0%増)となり、この結果、営業利益は 2,283 百万円(同 3.5%増)となりました。営業外収益 21 百万円(同 24.3%増)及び営業外費用 117 百万円(同 77.2%減)を加減した経常利益 2,187 百万円(同 28.1%増)は前年同期に比べ 480 百万円増加しました。税引前中間純利益は 2,187 百万円(同 28.1%増)、中間純利益は 1,644 百万円(同 37.4%増)となり、中間会計期間においては過去最高益を達成しました。

【業績】	29 年 9 月中間期	28 年 9 月中間期	増減	前年同期比
営業収入 (百万円)	19,600	18,864	735	3.8%
営業費用 (百万円)	17,317	16,659	658	3.9%
営業利益 (百万円)	2,283	2,205	77	3.5%
営業利益率 (%)	11.6	11.6	0.0	-
経常利益 (百万円)	2,187	1,706	480	28.1%
中間純利益 (百万円)	1,644	1,196	448	37.4%
ユニットコスト (円)	7.8	7.5	0.3	4.0%

(3) 財政状況

【財務状況】	29 年 9 月中間期	29 年 3 月期	増減
総 資 産 (百万円)	25,610	21,504	4,105
純 資 産 (百万円)	9,131	7,500	1,630
1 株当たり純資産額 (円)	42,957.17	35,284.76	7,672.41
自己資本比率 (%)	35.6	34.8	0.8

※ 自己資本比率は小数点第 2 位以下を切り捨て

(4) 運航実績・輸送実績

運航面においては、台風の影響等による欠航が生じましたが、就航率は 98.7%(前年同期 97.8%)となりました。定時出発率は、羽田・那覇両空港の空港混雑の影響等を受け、88.6%(前年同期 89.5%)となりました。

【運航実績】	29 年 9 月中間期	28 年 9 月中間期	増減
定期運航便数 (便)	12,320	12,211	109
欠航便数 (便)	164	277	△113
就航率 (%)	98.7	97.8	0.9
定時出発率 (%)	88.6	89.5	△0.9

【輸送実績】 *コードシェア販売分を除く	29年9月中間期	28年9月中間期	増減
旅客数 (人)	931,811	844,071	87,740
座席キロ (千席・キロ)	1,439,322	1,381,351	57,971
旅客キロ (千人・キロ)	975,297	884,015	91,282
有償座席利用率 (%)	67.8	64.0	3.8

2. 平成30年3月期下期(平成29年10月1日～平成30年3月31日)の見通し

当社は、多くのお客様や関係各所の皆様のご支援により、2017年8月1日に就航15周年を迎えることが出来ました。お客様への感謝の想いとこれからの決意を胸に、更なる成長・飛躍を目指し、下期以降も新たなサービスやキャンペーンを展開してまいります。

航空業界においては、為替・原油価格の変動リスクに加え、LCCを含めた各社との競争が更に激化することが予想されますが、引き続き現中期経営戦略を着実に実行し、ソラシドエアらしさにこだわったサービス・営業面での各種施策等、更なる旅客需要喚起に努めることで、通期の業績目標を当初計画(売上高:379億円、当期利益10億円)から、売上高:385億円、当期利益:17億円に上方修正し、達成に向け鋭意努力してまいります。

以上

<参考資料>

(数値は全て%)

路線別輸送実績 *コードシェア販売分を除く		有償座席利用率 (前中間会計期間値)	提供座席数 前中間会計期間比	有償旅客数 前中間会計期間比
東京線	—宮崎	65.9 (63.9)	△0.2	3.0
	—熊本	74.8 (71.8)	11.0	15.6
	—長崎	74.4 (70.2)	1.2	7.3
	—鹿児島	64.8 (52.1)	0.3	24.9
	—大分	57.5 (58.1)	0.0	△0.9
	—沖縄	— (62.4)	—	—
	小計	67.9 (63.2)	1.9	9.2
沖縄線	—宮崎	70.7 (76.2)	19.9	11.3
	—鹿児島	75.4 (80.3)	17.4	10.2
	—神戸	64.6 (67.1)	20.6	16.0
	—名古屋	54.3 (59.2)	40.1	28.5
	—石垣	75.0 (77.7)	41.6	36.7
	小計	66.9 (70.7)	24.5	18.0
全路線合計		67.8 (64.0)	4.6	10.4

(別添)

平成 30 年 3 月期 中間決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成 29 年 11 月 21 日

会社名 株式会社ソラシドエア

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 高橋 宏輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 添田 重行

(TEL) 0985 (89) 0123

半期報告書提出予定日 平成 29 年 12 月 21 日

1. 平成 29 年 9 月中間期の業績 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

(1) 経営成績

(%表示は対前年中間期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29 年 9 月中間期	19,600	3.8	2,283	3.5	2,187	28.1	1,644	37.4
28 年 9 月中間期	18,864	△0.3	2,205	44.4	1,706	15.1	1,196	26.7

	1 株当たり 中間純利益	自己資本 中間純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	%	%	%
29 年 9 月中間期	7,738.21	19.7	9.2	11.6
28 年 9 月中間期	5,628.82	22.0	8.9	11.6

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29 年 9 月中間期	25,610	9,131	35.6	42,957.17
29 年 3 月期	21,504	7,500	34.8	35,284.76

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
29 年 3 月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
30 年 3 月期	—	—	—	650.00	650.00	138	5.8	1.8

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況であります。

3. 平成 30 年 3 月期の業績予想 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収入		営業利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	38,500	0.9	2,500	△37.2	1,700	△28.4	7,997.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有 無

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・ 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有・ 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有・ 無
- ④ 修正再表示 : 有・ 無

貸 借 対 照 表

(平成 29 年 9 月 30 日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	9,714	流 動 負 債	6,273
現 金 及 び 預 金	6,450	営 業 未 払 金	3,546
営 業 未 収 入 金	1,541	短 期 借 入 金	1,351
た な 卸 資 産	315	リ ー ス 債 務	11
前 払 費 用	553	未 払 法 人 税 等	599
繰 延 税 金 資 産	173	賞 与 引 当 金	155
そ の 他	680	そ の 他	609
貸 倒 引 当 金	△0	固 定 負 債	10,205
固 定 資 産	15,895	長 期 借 入 金	5,854
有 形 固 定 資 産	7,705	リ ー ス 債 務	11
航 空 機	6,767	退 職 給 付 引 当 金	91
工 具 、 器 具 及 び 備 品	589	航 空 機 材 整 備 引 当 金	4,186
そ の 他	348	資 産 除 去 債 務	61
無 形 固 定 資 産	416	負 債 合 計	16,479
投 資 其 他 の 資 産	7,773	(純 資 産 の 部)	
繰 延 税 金 資 産	1,064	株 主 資 本	9,023
差 入 保 証 金	1,136	資 本 金	2,345
航 空 機 整 備 保 証 金	5,466	資 本 剰 余 金	411
そ の 他	106	資 本 準 備 金	411
		利 益 剰 余 金	6,266
		利 益 準 備 金	125
		そ の 他 利 益 剰 余 金	6,141
		繰 越 利 益 剰 余 金	6,141
		評 価 ・ 換 算 差 額 等	107
		繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	107
		純 資 産 合 計	9,131
資 産 合 計	25,610	負 債 及 び 純 資 産 合 計	25,610

(注) 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

損 益 計 算 書

(自平成 29 年 4 月 1 日 至平成 29 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

科 目	金	額
営 業 収 入		19,600
事 業 費		15,365
営 業 総 利 益		4,235
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		1,951
営 業 利 益		2,283
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	0	
為 替 差 益	16	
そ の 他	4	21
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	44	
リ ー ス 解 約 損	66	
そ の 他	6	117
経 常 利 益		2,187
税 引 前 中 間 純 利 益		2,187
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	542	
法 人 税 等 調 整 額	△0	542
中 間 純 利 益		1,644

(注) 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。